

奇跡なんてないよね

沼田の子猫

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

あらすじ

桃井さん、人生2週目ですって！それってチートじゃない？じゃない。

前より頭ゆるくなってる。頭んなかお花畑。恋愛脳。少女漫画つまってるの？
仕事しない。恋愛しない。勉強しない。バスケットする。

バスケットで帝光中のみんなを救いたい！

私はキセキの世代を超える！

目次

1

1

耳元でなる目覚まし時計のアラームを止める。

ブルーで飾られた、まさに男の子が使ってますというような可愛くもない部屋を見渡す。

いつになっても慣れないなあ。

桃井颯貴（ももいさつき）。

それが今の私の名前だ。

昔と言えばいいのかわからないけど、

私は前世の記憶を持っている。

前は桃井さつきというれつきとした女の子だった。

自分でいうのもあれだけど、長くて綺麗な髪で、胸も人より大きかった、顔も周りと比較してとても整っていたと思う。

つまり、女の子として完璧だった。

頭のできも悪くなかったし、マネージャーとしての仕事も完璧だったと思う。

そんな自分に一つ欠点があるとしたら、恋愛に対して奥手だったことかもしれない。告白されたことは何度かあったけど、一度も付き合ったことがない。

中学時代も高校生時代も、マネージャーの仕事で、それどころではなかったし。

男の子と外に行くだけでデートだ！とかはしゃいでたが、今考えるとあんなのデートには含まれない。ノーカンだ。

そう思うと、せっかくの学生時代。

振り返ると青春という青春を全くしてこなかったと気がつく。女の子なのに、枯れている。

そんなんで、いいのか自分。

いや、よくない！

もう一度人生やり直せるならば、はしやぎまくって、学生生活楽しみたい。

もう一度人生やり直せるならば、バスケのマネージャーなんかより、燃えるような熱

い恋をしたい。

もう一度人生やり直せるならば、悔いのない人生にしたい。

神様がいるんだったなら、何とかしてよ！

そして、私はここにいる。

私の願い通り、私はもう一度人生をやり直せる機会を得て。

何故、本当にこんな事が起こったのかはわからないし、まさに奇跡としか言いようがない。

神様、様々って感じだね！

まあ少しケチをつけるんだとしたら、なぜ男なのか。

あれ？自分、一言も男になりたいとか言っていないし。

てか、恋したいって言ってる私にこの仕打ちって軽くいじめだね。

いじめだめ。絶対。

一日目は、男の自分を受け入れられず軽く現実逃避をしていたけれど、少しずつこの状況になれていった。

私が男の子になったのは、何かの運命なのかも知れない。

私が桃井さつきだったときも、何だかんだでマネージャーを続けていたのは、やっぱりみんながバスケをしているのを見るのが楽しかったんだと思う。

でも、バラバラになってしまったとき、なんて声をかけていいかわからなかった。

私は所詮コートの外にいるだけ。

やつぱりみんなとは少し遠かったのかもかもしれない。

それでも、みんなの隣に立ちたかった。

今ならみんなの隣に立つ資格あるかな？

私が、もし人生をやり直せるなら、あんな運命変えたっていいよね？

桃井颯貴、12歳、男。

帝光中バスケット部はいます。

でも、やっぱり恋もいいよね！てへ！